

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
児童家庭福祉		福田 智雄	講義	2	後期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	幼稚園教諭二種免許必修 保育士資格必修 保健児童ソーシャルワーカー資格必修			
学習目標	児童家庭福祉の理解は、少子高齢化社会を迎えている市民として必須であり、保育士、幼稚園教諭になるためには欠かせない。この授業では、児童家庭福祉の基本的な理念や概念を学ぶとともに、最新のサービスについて概要と活用の仕方を学ぶ。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	児童家庭福祉の考え方	児童家庭福祉とは何か			
2	児童家庭福祉を取り巻く状況	少子化、子どもを取り巻く福祉問題			
3	児童家庭福祉の歴史	近代以前の日本と戦後日本の児童家庭福祉の歴史			
4	児童家庭福祉行政の仕組み	法律の概要と行政			
5	児童家庭福祉の機関と施設	機関、施設と相互の関わり			
6	健全育成サービス	考え方、児童厚生施設			
7	母子保健サービス	現状とサービスの概要			
8	保育サービス	現状とサービスの概要、今後の課題			
9	要保護児童への福祉サービス	社会的養護の現状と今後の動向			
10	障害児福祉サービス	定義、サービスの概要			
11	少年非行への対応	現状、サービスの概要			
12	ひとり親家庭への福祉サービス	必要性和サービスの概要			
13	子ども虐待の概念	子ども虐待の概念と現状			
14	子ども虐待の防止策	発見の仕方と防止法			
15	児童家庭福祉の担い手	職員の現状と資格制度について			
参 考 書	福田公教他編「児童家庭福祉」ミネルヴァ書房 2010 山縣文治他編「よくわかる家庭福祉」ミネルヴァ書房 2006				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	施設での実習と関わりが深いため、十分な復習を望む。				
評価の方法と時期	定期試験、出席状況、授業への参加状況を総合して評価する。				